



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月12日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木住野 福寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
 四半期報告書提出予定日 2021年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	50,844	△12.1	1,795	△44.0	1,736	△44.6	1,105	△45.8
2021年2月期第2四半期	57,863	14.8	3,206	881.1	3,135	—	2,041	—

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 1,101百万円 (△46.2%) 2021年2月期第2四半期 2,048百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	48.14	—
2021年2月期第2四半期	88.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	65,173	27,026	41.5	1,176.57
2021年2月期	65,082	26,410	40.6	1,149.75

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 27,026百万円 2021年2月期 26,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	△1.6	4,100	△12.1	4,000	△12.5	2,500	△17.8	108.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	23,354,223株	2021年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	383,449株	2021年2月期	383,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	22,970,774株	2021年2月期2Q	22,971,097株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年3月1日から2021年8月31日まで）においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う度重なる緊急事態宣言の発出により、経済活動は様々な制約を受けることとなりました。当初は、ワクチン接種の進行により感染拡大に歯止めがかかるとの期待はありましたが、感染の勢いが収まることはなく、終息の見えない混沌とした状態が続きました。

消費行動については、前年の同時期に見られた外出自粛等に伴う巣ごもり需要も一巡し、マスクや除菌関連などの衛生用品や住居関連用品、日用雑貨など特需となった前年からの反動減が続いております。

一方、食品の需要については全体的に落ち着きを見せており、前年同期の水準は下回るものの、比較的堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、グループ全店舗等を通じて感染症拡大の防止に細心の注意を払いながら、地域社会のライフラインを守るべく、安定した商品供給に努めてまいりました。

食品分野におきましては、店舗規模に応じた商品構成への転換を引き続き進めており、当期首より連結の範囲に加えた㈱優翔が運営する「スーパーマーケット フジマート」を㈱Olympicの運営に切り替えるとともに、Olympicの店舗フォーマットへの改装を実施いたしました。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えで、季節や地域生活のニーズに対応できる売り場づくりを進め、従来からの、チラシに頼らず毎日お求めやすい価格で商品をご提供し続けるEDLP政策を継続しております。

専門店分野におきましては、自転車専門会社の㈱サイクルオリンピック、ペット専門会社の㈱ユアペティア、DIY・ガーデニング専門会社の㈱おうちDEPO、靴専門会社の㈱シューズフォレストを中心に、自社開発商品の拡大と専門性の強化を進め業容の拡大に努めております。

また、動物病院を経営する㈱動物総合医療センターにおきましては、㈱ユアペティアとの連携を強化しながら、CT画像検査機などを活用した高度医療を提供できる、当社4病院目となる「動物総合医療センター高井戸」（東京都杉並区）を「Olympic高井戸店」に開院いたしました。

経費面では、グループ全体を通じて店舗運営の効率化を進め、費用対効果を検討しながら徹底した経費の節減を継続してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は、508億44百万円（前年同四半期比12.1%減）となり、営業利益は17億95百万円（前年同四半期比44.0%減）、経常利益は17億36百万円（前年同四半期比44.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億5百万円（前年同四半期比45.8%減）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、651億73百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、土地が増加したこと、商品が減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億24百万円減少し、381億47百万円となりました。これは主に買掛金、短期借入金が増加したこと、未払法人税等、長期借入金、その他の流動負債のうち未払消費税等が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億15百万円増加し、270億26百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績につきましては、2021年4月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,572	4,841
受取手形及び売掛金	1,365	1,575
商品	9,608	9,351
その他	1,232	1,246
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	16,778	17,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,880	11,825
土地	15,093	15,413
その他(純額)	1,941	2,057
有形固定資産合計	28,915	29,296
無形固定資産		
投資その他の資産	1,488	1,555
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,003	13,997
その他	3,896	3,310
投資その他の資産合計	17,899	17,307
固定資産合計	48,303	48,159
資産合計	65,082	65,173
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,727	9,306
短期借入金	13,527	15,840
未払法人税等	1,303	345
賞与引当金	386	392
資産除去債務	7	—
その他	4,430	3,077
流動負債合計	28,383	28,963
固定負債		
長期借入金	7,156	6,326
退職給付に係る負債	17	16
資産除去債務	617	620
その他	2,495	2,219
固定負債合計	10,287	9,183
負債合計	38,671	38,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	6,839	7,459
自己株式	△293	△293
株主資本合計	26,322	26,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	84
その他の包括利益累計額合計	88	84
純資産合計	26,410	27,026
負債純資産合計	65,082	65,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	54,433	47,685
売上原価	36,422	30,671
売上総利益	18,011	17,013
営業収入	3,430	3,158
営業総利益	21,441	20,172
販売費及び一般管理費	18,234	18,377
営業利益	3,206	1,795
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	13	9
債務受入益	21	11
その他	30	40
営業外収益合計	81	75
営業外費用		
支払利息	143	124
その他	8	10
営業外費用合計	152	134
経常利益	3,135	1,736
特別損失		
固定資産除却損	31	41
減損損失	29	—
投資有価証券評価損	20	—
特別損失合計	80	41
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	3,054	1,694
匿名組合損益分配額	△19	△40
税金等調整前四半期純利益	3,073	1,734
法人税、住民税及び事業税	799	393
法人税等調整額	232	235
法人税等合計	1,032	629
四半期純利益	2,041	1,105
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,041	1,105

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	2,041	1,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△4
その他の包括利益合計	6	△4
四半期包括利益	2,048	1,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,048	1,101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記等)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。